

順天堂医院ニュース 2019 NO.66

あけまして おめでとうございます

新年明けましておめでとうございます。平成の元号が新しくなる年を迎えて気持ちを引き締めるとともに、新しい元号を心身共に健やかに迎えたいと思います。

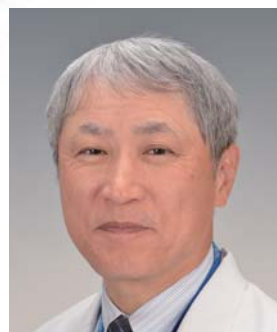
また去年は異常気象から全国的に予想外の災害を被りましたが、被災地の復興が進んで安心の再現が得られるのを祈るとともに、被災者や被災者にご関係の皆さまが平穏な毎日を取り戻せることを願っています。さらに年末から乾燥と寒暖の激しい気候不順が続く中でインフルエンザやノロウイルス流行のニュースも聞かれますので、体調管理には十分ご注意ください。

平成31年を迎えて、順天堂医院に課せられた使命は「期待に応える」ということです。まず、受診に際しての利便性を向上させるため、これまで1号館で受け付けていた入退院の窓口をB棟2階に移動させて、さらに手術や化学療法で入院予定の患者さんには合併症予防目的で口腔ケアも同じ場所に対応します。嚥下の力を向上させて肺炎の予防も兼ねた自己の回復力をサポートします。また、特定機能病院として開業の先生方との医療連携強化だけでなく、急性期治療後のリハビリについては専門施設との連絡を密にして患者さんに合った施設と設備を提供していきます。

昨年導入された手術支援ロボット、ダ・ヴィンチXiは多くの診療科で使用を開始して、患者さんへの負担が少なく手術の傷が小さな低侵襲手術で早期回復を確実にしています。

また去年は高齢者に増加しつつある白血病や悪性リンパ腫の治療を強力かつ確実に進めるために無菌病棟も開設されました。早期の化学療法でも患者さんの期待に応えられる準備は整いました。細胞再生医療についても関節疾患などに効果が拡大しつつあるPRP療法は全国から患者さんが来院され、一時期は受診待ち時間が長くなりましたが、診察スペースの確保などで期待にお応えできるようになりました。

今年もご来院の患者さん全てに安心・安全な医療を提供してまいりますので、ご期待ください。



院長 天野 篤

各記事にあるQRコードを読み込むことで、各診療科および各部署のHPを開くことができます。ぜひ、ご活用ください。

